

## 理数科2年コミュニケーション講座実施 「話す技術・伝える技術」

課題研究発表会に向けて、IBC 岩手放送のアナウンサーを経て、現在はフリーのアナウンサーや司会、そして社会人ビジネスマナー等の研修講師として活躍している大高智佳子さん（Next-Stage）を招き、理数科2年コミュニケーション講座を1月15日に実施しました。

物事を相手に分かりやすく伝えることは、どの分野で活躍するためにも重要なスキルです。どんなに素晴らしい研究をしても、その研究内容を聴衆に上手く伝えられなければ、素晴らしい研究とは認められません。研究内容を聴衆に分かりやすく伝えることは、研究を進める上でも大切になります。

講座の前半では、発声やイントネーション、スピード、マイクの使い方等の話す技術、「伝えた」の一方ではなく「伝わった」の双方向にするための伝える技術を学びました。そして後半では、研究発表の演習を行いました。大高先生の教えを守り分かりやすく伝えようと努力している姿が見られ、成長が感じられました。平成30年1月19日に実施する理数科2年の課題研究発表会では、今回の経験が生かされ「伝わった」発表になることを期待しています。



講師の大高智佳子先生



発表演習を行い、生徒間や大高先生の助言から学びました

- ◇口をはっきり開くこと、間、スピードなど発表会を目前に、非常に参考になる講演だった。今までの自分の発表でも今回の講演で教わったことは意識してきたつもりだったが、思い返すとあまりできていないことにも気がつくことができた。今回教わったことが本番でもきちんとできるように練習をしていきたい。
- ◇今回の講演会に参加して、今度の課題研究発表会やその後に生かせることを学ぶことができた。その一つとして、話す前の第一印象がある。印象を決める要素として、表情・身振りがあり、自分は表情が硬く今まで第一印象が悪かったのではないかと感じた。だから、話す相手にとって自分の印象がプラスになるようにしていきたいと思った。
- ◇今回の講演会では、声の出し方だけでなく、効果的な伝え方、文章構成を知った。実際にプレゼンの形式を取り練習できたので、言われた点だけでなく自分自身で気づいた点もあったので改善していきたい。本番では、聞いて下さっている方に、しっかりと、伝えたいことを正しく効果的に伝えられるよう練習したいと思う。